

農薬適正使用アドバイザー等研修会を開催

平成21年8月3日(月)、山田公民館、7日(金)、三和ふれあい館において、「農薬適正使用アドバイザー等研修会」を開催しました。

研修会では、農薬適正使用アドバイザー、農産物直売所担当者等27名が参加し、病気に強い安全・安心な農作物の作り方、農薬取締法の解説と農薬適正使用、農薬飛散防止展示の結果、直売所等における栽培履歴の記載などについて、農林事務所の職員が説明を行いました。

病気に強い農作物の作り方では、生産者が自ら実践している様々な方法について質問があり、作物の安全に関する意識の高さが感じられました。



菌床椎茸栽培施設新築工事の安全祈願祭が開催されました。

平成21年8月3日(月)、農事組合法人いわき菌床椎茸組合による「菌床椎茸栽培施設新築工事の安全祈願祭」が、いわき市渡辺町泉田字狐塚地内の現地で開催されました。

安全祈願祭には、組合員、来賓、工事関係者等約40人が出席し、磯上理事長らが鍬入れの儀を行い、工事の安全



を祈願しました。

この施設は、平成21年度「森林・林業・木材産業づくり交付金事業」として承認され、椎茸の安定生産を目的に実施するもので、敷地面積8,837㎡に、培養棟、生育棟、包装選別棟、オガ置き場を整備します。菌床椎茸の年間生産量は約200tで、県内でも最大級の規模となります。

近年、食料自給率の低下や輸入食品に対する安全性への懸念から、安全で安心な食料の自給と安定供給が、県民の大きな関心を集めており、先進的な菌床椎茸の生産施設整備は大いに注目される所です。

また、施設完成後の菌床椎茸生産を通じ、就業機会の創出による地域の活性化が大いに期待されます。

遊休農地で放牧研修会を開催

平成21年8月6日(木)、「平成21年度遊休農地普及解消事業」の一環として遊休農地への放牧及びその後の草地化技術の普及を目的に放牧研修会を開催しました。

研修会は、いわき家畜保健衛生所及び県農業総合センター畜産研究所沼尻分場の協力により、田人町貝泊に設置した簡易放牧の展示



ほ(遊休水田50a和牛繁殖3頭放牧)での現地検討をはじめ、「放牧の有効性」、「遊休水田の草地化」、「放牧衛生管理」について、畜産農家の方々を対象に行われました。



この研修会を契機として、いわき地方の放牧の拡大による遊休農地の解消が期待されます。



「6次産業推進戦略策定に向けた実践者訪問調査」を実施

農林水産業の6次産業化や農商工連携、企業の農業参入等の動きを進展させ、産業間連携により相乗効果を発揮するとともに、本県の地域力を活かして、新しいビジネス形態を創出していくための指針となる戦略策定のため、いわき管内における実践者等への訪問調査を実施しました。

平成21年8月6日（木）より約1ヶ月間、農林事務所と地方振興局が合同で、農業や商工業分野で先進的な取り組みをしている15の事業者等に御協力をいただき、事業内容、事業発展の秘訣と課題、行政や関係団体への期待など様々な角度から御意見をいただきました。

取り組みの内容は様々でしたが「ブランド力」、「加工力」、「後継者不足」など共通した課題が数多く挙げられました。



今後は、本庁において県内全域の訪問調査結果等を参考にしながら、戦略を策定し、新たな時代を拓くビジネスモデルの構築に向けた取り組みを行っていく予定です。



日照不足に係る農作物技術対策会議を開催

平成21年8月12日（水）、県いわき合同庁舎で、「日照不足に係る農作物技術対策会議」を開催しました。

特に7月下旬から日照不足が続き、6～8月の3ヶ月日照時間は平年値の70%程度に留まりました。



水稲では、生育が進んでいましたが、日照不足により出穂期が平年並となり、この時期に降雨が多かったことから穂いもちの発生が警戒されます。

また、なしでは、果実の肥大が進み収穫も早まりましたが、着色度よりも果肉の熟度が進んでいることから、適期収穫の徹底について検討が行われました。

この会議で検討された「日照不足に伴う農作物の技術対策情報（第2号）」は、生産者に広く周知され、十分な対策を講じられるよう、いわき農林事務所ホームページに掲載しています。



梨選果場の操業開始式が行われました。

平成21年8月18日（火）、JAいわき市梨選果場で「操業開始式」が実施されました。

開始式では、各関係機関からの祝辞などに続き、選果場長からトラック運転手に幟り旗が手渡され、関係者一同の拍手の中、「幸水」を積んだトラックが市場に向け出発しました。

今年は、開花期が平年より5日程度早く、その後の生育も順調に経過しました。

しかし、梅雨入り

以降の日照不足により、果実への影響が心配されましたが、生産者の栽培への熱意により、平年より大きくて美味しい梨が実りました。

いわき地方では、昨年導入された新しい「透過型光センサー」により、糖度、着色度に加え、内部障害や熟度も測定できるため、消費者へ高品質で斉一性の高い梨を届けることが可能となりました。是非、安心・信頼のできる美味しい「サンシャインいわき梨」をご賞味ください。



平成21年度女性農業者育成セミナーを開催

平成21年8月28日（金）、田人公民館で、地域特産物を活用したアグリビジネスの推進を目的に「女性農業者育成セミナー」を開催しました。



いわき地方では、田人地区を中心に、女性及び高齢者にも取り組みやすいブルーベリーの栽培が増加していることから、ブルーベリーを使った加工について研修しました。

当日は、農産加工、農家レストランなどのアグリビジネスをめざす生産者等、約20名の参加がありました。

はじめに、普及指導協力委員の大町達夫氏を講師として迎え、地元産ブルーベリーを使った調理実習を行ったあと、農林事務所の農業普及指導員から機能特性等の講義を行い、参加者は興味深い様子で研修に取り組んでいました。



今後も、アグリビジネスを推進するとともに、女性農業者の能力が発揮されるよう支援を行っていくこととしています。



田んぼの生きもの調査を 開催

平成21年8月28日(金)、「ふくしまの農育」推進事業の一環として、「田んぼの生きもの

の調査」を開催しました。

この活動は、農業生産だけでなく、魚などの生物の生息・生育の場ともなっている水田や、その周辺の水路にはどのような生きものがあるのかを調べ、学習することを目的としており、今年度は、いわき市立夏井小学校4年生児童23名を対象として実施しています。

当日は、夏井小学校周辺の田んぼの用水路で調査を行いました。

調査の内容は、水路の水深や流速、水質等を調べる「環境調査」と、実際に生きものを捕まえてその種類を調べる「生きもの調査」です。



調査の結果、フナやドジョウなどの魚類のほか、トウキョウダルマガエル、モクズガニといった多様な生きものの生息が確認されました。

児童らは、魚類やカエルなどの生きものを捕まえては、大きな歓声をあげ、自分たちの地域の田んぼや水路にはたくさんの生きものがあることを知って驚いた様子でした。

いわき農林事務所からのお知らせ

- ◎ 田んぼの学校稲刈り
期日： 9月29日(火)
会場：夏井小学校学習田
- ◎ 愛谷江筋探検隊(愛谷堰土地改良区)
期日： 9月30日(水)
会場：愛谷頭首工現地(平赤井地内ほか)
- ◎ いわき農業普及推進懇談会
期日： 10月23日(金)
会場：県いわき合同庁舎
- ◎ ふるさと誘致と連携した地域産品づくり事業 大豆収穫
期日： 10月24日(土)
会場：田人町貝泊地内
- ◎ 農業普及指導活動外部評価懇談会
期日： 10月27日(火)
会場：県いわき合同庁舎

☆新型インフルエンザ予防対策として、所内各部の入口付近に、手指用の**アルコール消毒液**を配備しましたのでご利用願います。



※日程等の詳細は、後日ホームページ、広報紙等でお知らせします。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 いわき市平字梅本15番地 Tel (0246)24-6197 Fax (0246)24-6196

URL <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E-Mail iwaki.nourin@pref.fukushima.jp



iwaki.nourin@pref.fukushima.jp